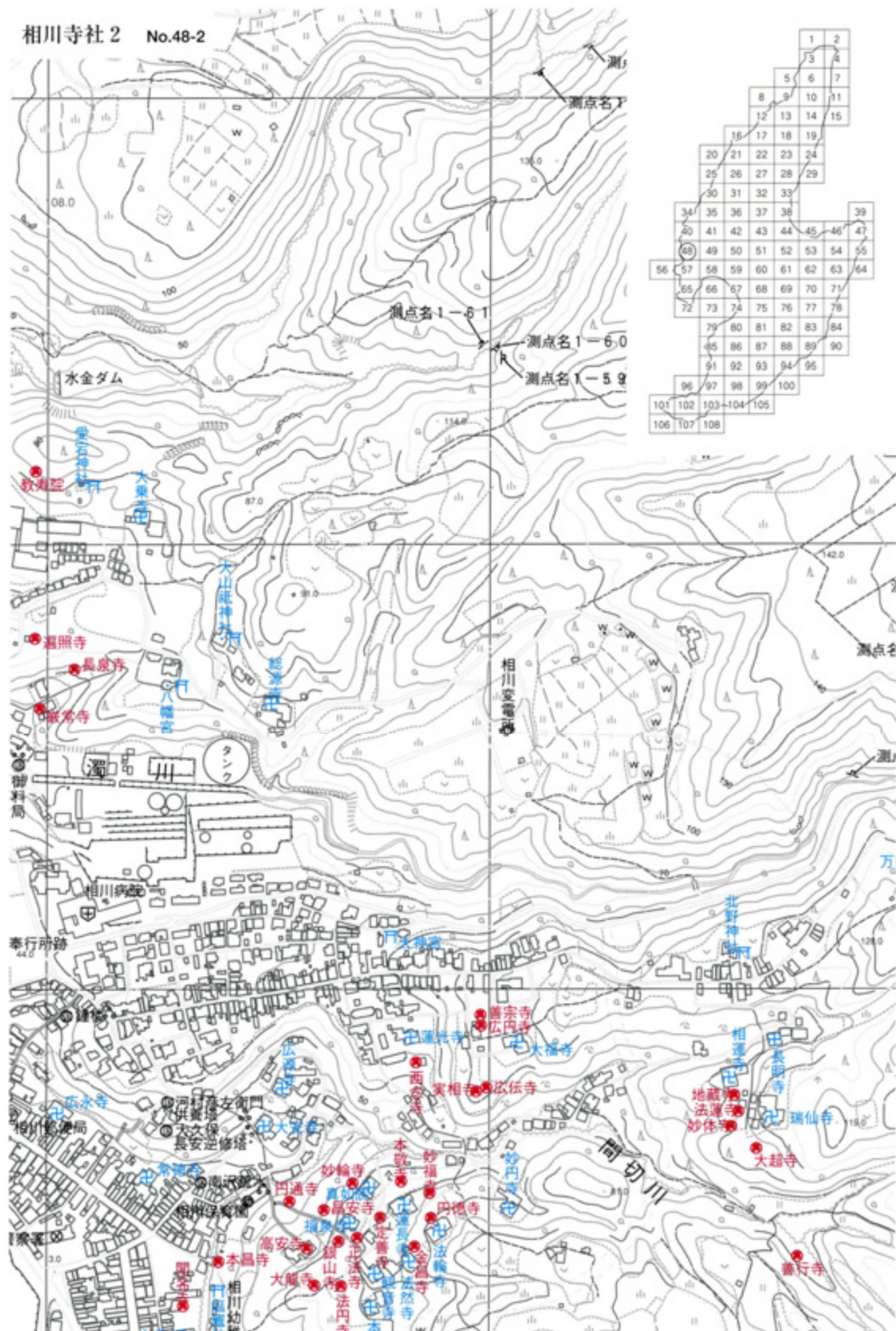
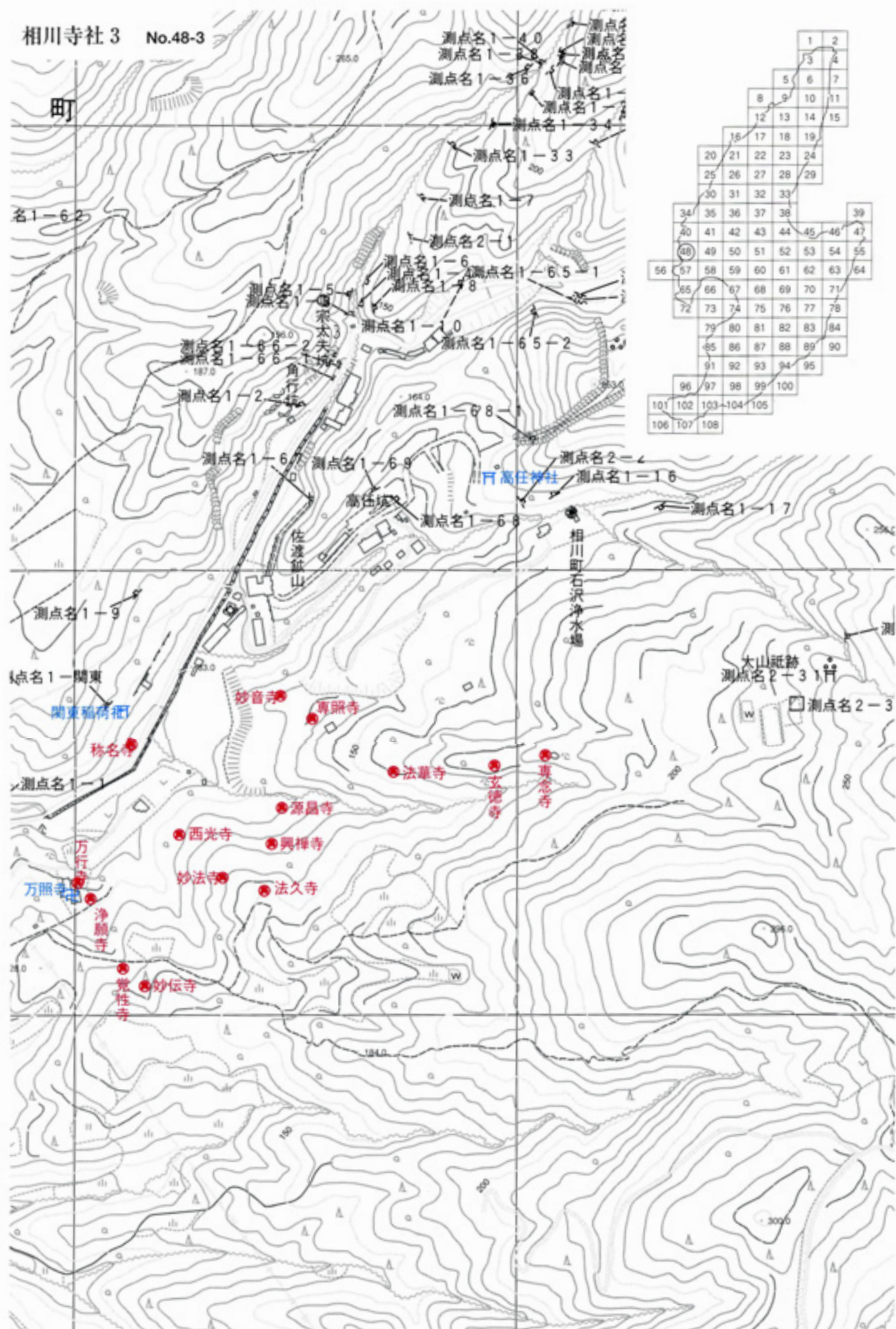


寺 社 調 査

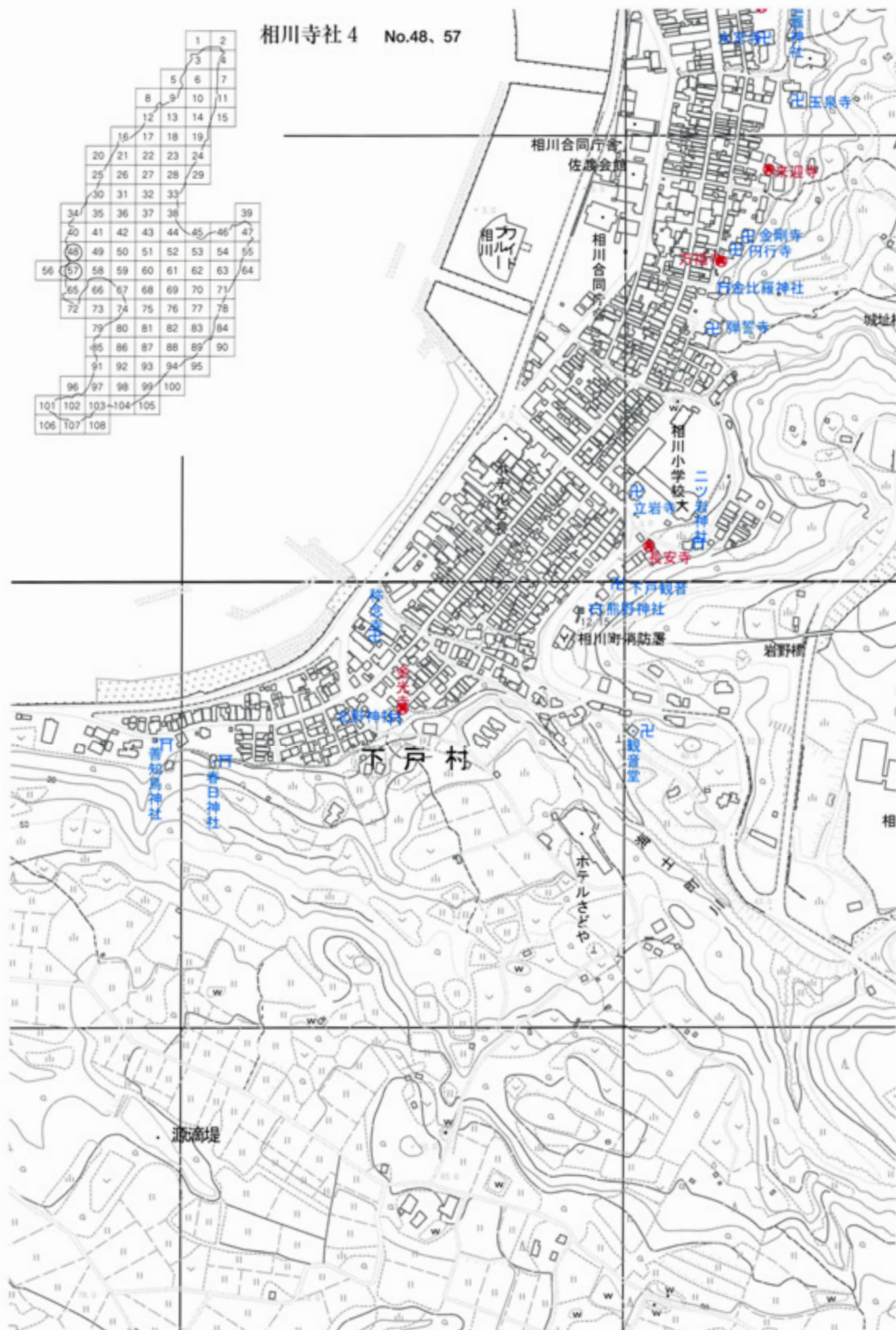
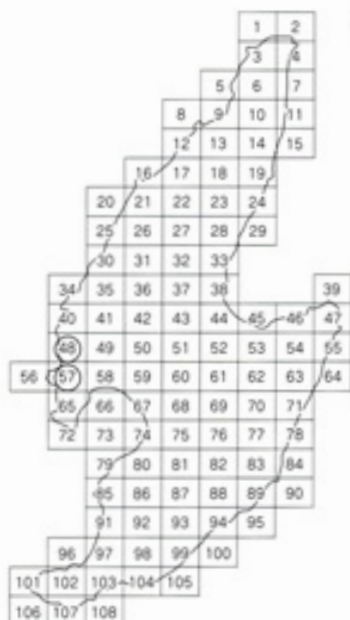
旧相川地域

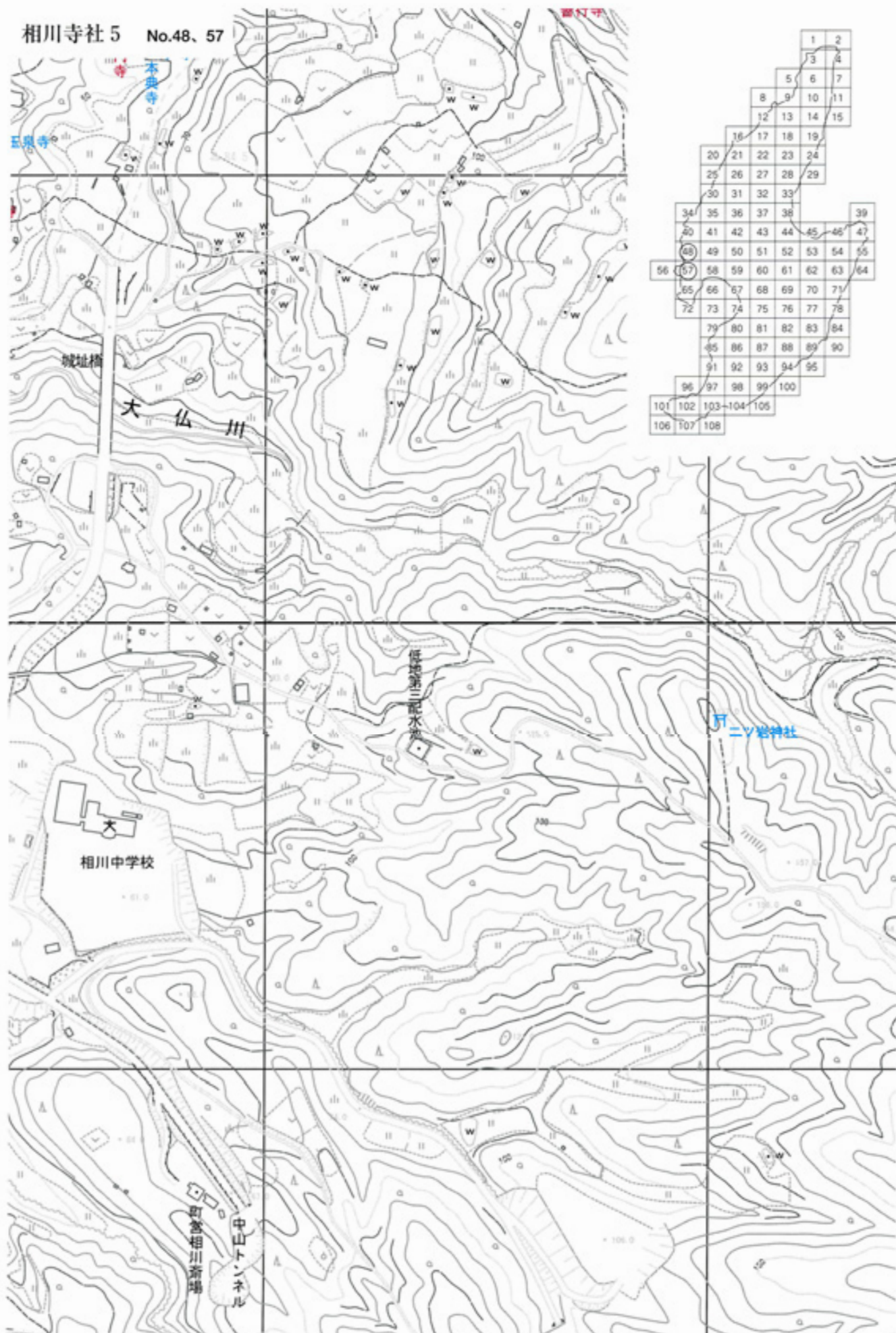






相川寺社 4 No.48、57





寺 社 調 査

調 査 の 概 要

1. 目 的

坑道の釜の口には「大山祇」を祀り、作業の安全と良い鉱脈に当たり量産できるように願って、崇拜されていた。

下山の神町に鎮座する、大山祇神社は佐渡鉱山で、祭礼ならびに修復等に諸費を賄っている。また神官の安岡氏は大久保奉行が石見から来島させてその職に充たらせている。

殆どの社に奉納されている灯籠、手洗鉢等には鉱山関係者の氏名が刻字されている。信仰をふかめていることを示す現れでもあろう。

寺院は、奉行、山師等（大久保長安の大安寺、味方但馬の瑞仙寺等）によって建立された寺院。奉行の墓碑、供養塔。山師、役人、鉱山労働者等の墓碑。無宿人の供養塔、鉱山に深い関わりを持った多くの人々の生涯を物語る一翼を担っている。それ等は鉱山稼働の盛衰変遷にも繋がり、鉱山史に迫る狙いとする。

2. 方 法

現存寺社について、調査カード項目を次のように設定した。

- ・名称（宗派、山号、呼称）
- ・所在地
- ・管理者（神職、住職、檀家惣代）
- ・現状
- ・建築年代
- ・創建・開基
- ・祭神・本尊
- ・祭礼・本山寺
- ・構造（屋根造り）材質
- ・社面積
- ・構造物
- ・工作物
- ・指定の有無
- ・由緒
- ・立地
- ・参考資料
- ・所見
- ・調査員
- ・調査年月日
- ・配置図
- ・写真

相川町は町史編纂室に資料が収集され、資料集・町史「佐渡相川の歴史」が刊行されている。しかし時代の変遷、建造物の老朽も激しく調査中にも廃寺となり撤去されたもの、修復されたもの等配置図等再計測を余儀なくされた。境内の景観は風害、松食虫による枯死によって様変わりしている。

廃寺については、現存の寺院に合併したものは確認は割合調査も伸展したが、江戸時代に既に廃寺、移転したものがあり、位置の確認はできない。また銀山町等鉱山の近代化によって開発が進み地形が変わって、痕跡を残していないものもある。

資料として、「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「佐渡名勝志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」等から寺名を収集し、古絵図、伝承、地域住人の話等を参考にしながら現地踏査を繰り返したが、人家が無くなった所は放置され自然林化して、雑草、竹藪、老木の枯死に覆われ、踏査も時間を要した。

調査員の三浦啓作、鎌田直治は二人で現存寺院を現地踏査で撮影、配置図を野帳に記載して、調査項目にしたがって整理する計画にした、無住や兼務寺院は聞き取り調査に時間を要して計画通りには進行しなかった。

一応確認できたものは、地籍図をもとにして1/5000の地図上におとした。

3. 調査の成果

調査項目を設定し、平成12年3月から調査を実施した。調査委員二人では計測し記録、写真撮影と慌ただしい作業ではあった。また兼務住職の寺院で住職が町外の場合連絡に時間を要したり、聞き取りも促らない場合があった。住職さんのなかには調査目的から具体的説明をして納得のうえ許しを得る等大変であった。

神社では、神職の方が兼務されている実態から、実質管理は氏子の方々の奉仕している現状で、祭典も促らないものがある。祭神によっては、全島から参拝者が多く集まった神社も、時代の流れで減少した社会情勢は、昔を忍ばせるものである。

二ツ岩大明神の祭神は団三郎貉となっている。貉伝説は全島に様々のかたちで残っているが、鉾石の製錬に繻が大きく関係している。繻のピストンの要に貉革が使用されている、掟をもって保護繁殖したという。

長安の渡海にあたっての記録に「代官所へ参り候時は家来の外美女二十人猿楽三十人供に召連上下泊々にて打はやしおどらせ通申候」とあり、寺社に能が奉納された記録が残されているが、現在相川には能舞台は存在しない。

寺社の工作物（手洗鉢、鳥居、灯籠等）寄進者は、殆ど鉾山関係者であった。

寺院の開基年代をみると、慶長期（1596～1614）に最も多く、元和、寛永（1615～1644）とつづいていいる。鉾山稼ぎの面を見ると、元和、寛永期には盛大である。（金銀産出量慶長17年以前不詳）鉾山都市が形成された時期であろう。

慶長6年の間歩発見以前に開基寺院が見られることは、寺院の移転によるものか、既に集落が成立していたかは記録でははっきりしない。

真言宗、浄土宗などは町の上級町人が大半で、大阪、若狭、尾張、堺など関西系を中心とした地方から来た人々である。それに対して浄土真宗は、鉾山労働者が集団移動して来たのではないだろうか。同じく禅宗、日蓮宗、時宗などで、越中、越前、越後、加賀など北陸地方から新たに來住した人々や上級町人に従って來島した者で占められている。

寺院の位置関係では上相川の鉾山地帯の台地には真言宗、日蓮宗などの寺院が多く、上級町人にあたる山師や関西を中心にした商人とそれらの人々に従って來島した人々の一団が開いた寺々があった。

寺は葬送や仏事だけのためにあったのではなく、一団の集会など日常公共施設としても広く使われていたのであろう。

今後、上相川の発掘調査によって、廃寺で確認されている専念寺、玄德寺、法華寺、専照寺跡等があるので明確になることであろう。

宗派別集計

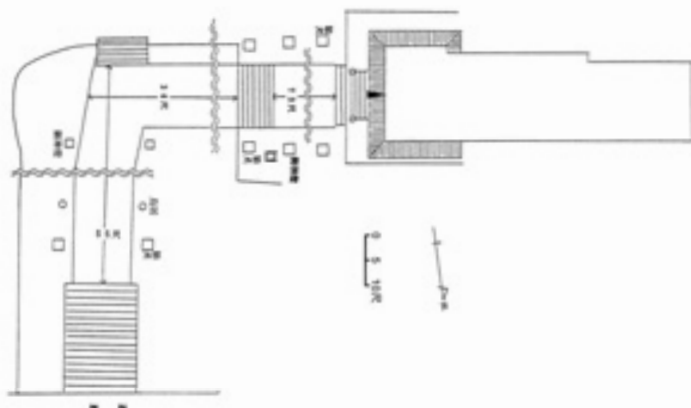
宗 派 名	現 存	廃 寺	所在不明	不確實寺	計
浄 土 宗	4	15	4		23
浄土真宗	10	9	22	4	45
日 蓮 宗	9	12	2	2	25
真 言 宗	6	6	2	2	16
天 台 宗	1	3	1		5
禪 宗	2	10	3	4	19
不 明				14	14
計	32	55	34	26	147

開基年代

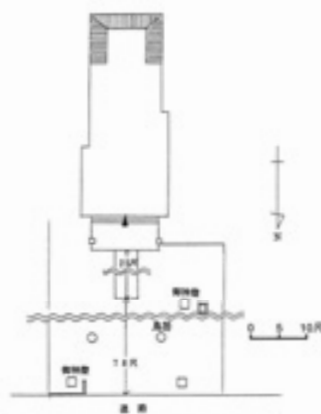
	浄 土 宗	浄土真宗	日 蓮 宗	真 言 宗	天 台 宗	禪 宗
慶 長	8	9	8	7	1	4
元 和	10	10	4	1		7
寛 永	5	2	8	1	1	
不 詳	1	18	1	4		4
計	24	39	21	13	2	15
他	応仁、永正	慶 安	永 正	永 正	文禄、万治	

※慶長（1596～1614） 元和（1615～1623） 寛永（1624～1644）

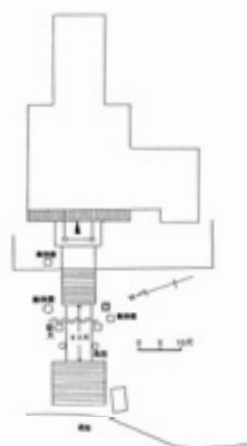
1. No 相川 1
 2. 名称 善知鳥神社
 3. 所在地 相川町下戸村字宮の腰145番地
 4. 管理者 佐々木 勉
 5. 現状 良好（老松が松食虫による枯死）
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創建 仁平元年（1151）
 8. 祭神 住吉三神・渡津見三神
 9. 祭礼 10月19日
 10. 社面積 616坪（2033㎡）
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・社務所
 12. 構造 拝殿は日吉造
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠2対・狛犬3対
 手洗鉢1基・参道石畳石段
 14. 由緒 善知鳥七郷の総鎮守とされていた。現在地に移る以前は金泉地区の戸中に鎮座していたと伝えられている。
 15. 立地 下戸と鹿伏境の段丘の麓。
 16. 参考資料 「佐渡神社誌」「相川町誌」
 「佐渡国寺社境内案内帳」
 17. 所見 昭和11年5月鹿伏大神宮を併合。昭和29年下山の神の東照宮を併合する。祭礼は「相川祭」と称し町民、観光客が提灯を掲げ神輿のお帰りを賑わった
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年4月4日



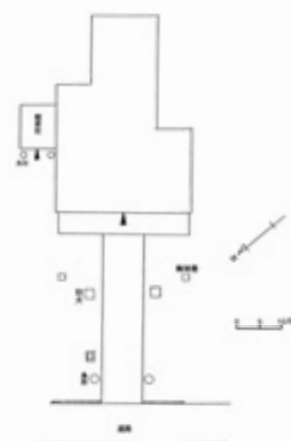
1. No 相川 2
 2. 名称 春日神社
 3. 所在地 相川町下戸村宮の前412番地
 4. 管理者 三浦 叔哲
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創建 慶長10年（1605）
 8. 祭神 武甕槌命・姫大神・他三神
 9. 祭礼 昔4月5日 現5月5日
 10. 社面積 844.2坪（2786㎡）
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿
 12. 構造 本殿春日造・拝殿日吉造
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠2対・手洗鉢1基
 14. 由緒 始め鹿伏村春日崎に創建された。慶長12年ト部兼治朝臣渡海の際に他の三神を勧請して春日大明神と改めた。元和5年現在地に遷宮した。
 15. 立地 旧県道沿いで善知鳥神社の東に隣接する。
 16. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」
 「佐渡神社誌」
 17. 所見 境内に町遊園地を設置して、地域の住人によって草刈り等して整備されている。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年4月4日



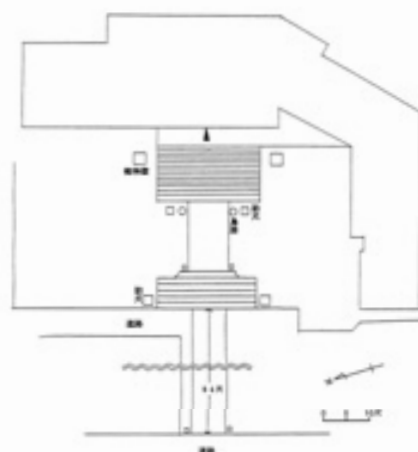
1. No 相川 3
 2. 名称 北野神社
 3. 所在地 相川町下戸村363番地
 4. 管理者 富崎 三春
 5. 現状 普通
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創建 慶長6年(1601)
 8. 祭神 菅原道真朝臣
 9. 祭礼 6月25日
 10. 社面積 365.3坪(1205㎡)
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・神饌所・物置
 12. 構造 拝殿は入母屋
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠1対・狛犬1対
 手洗鉢1基・参道石畳石段
 14. 由緒 真言宗金光寺(国分寺末)の境内に、道真公の尊像を安置していた。元和9年に佐渡奉行鎮目の信仰により、社殿を造営された。寺は明治の廃仏毀釈によって廃せられ、住僧は神職となる。
 15. 立地 下戸の銭座旧県道に沿って一段高い、神域となっている。
 16. 参考資料 「佐渡神社誌」「相川町誌」
 「佐渡国寺社境内案内帳」
 17. 所見 寺は本寺の国分寺に併合した。道路沿いには石仏があって地域民の信仰を集めている。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年4月4日



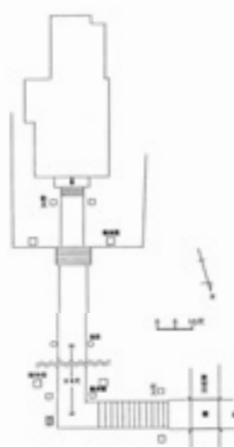
1. No 相川 4
 2. 名称 熊野神社
 3. 所在地 相川町下戸村126番地
 4. 管理者 富崎 稔
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代 明治17年改築
 7. 創建 元禄年中(1688~1703)
 8. 祭神 伊弉諾尊・速玉男命・事解男命
 9. 祭礼 9月10日
 10. 社面積 167坪(551.6㎡)
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・神饌所
 12. 構造 入母屋
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠1対・手洗鉢1基
 狛犬1対・社号柱1
 14. 由緒 始め惣四郎という農夫が、祠をこの地に建てた。鹿伏村の了蔵院を別当として毎年祭礼を行なう。
 15. 立地 県道沿いで消防署の隣。
 16. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」
 「佐渡神社誌」
 17. 所見 山の神系を祀っていたらしく諸説がある。狐師等の信仰が篤かった。境内社 稲荷神社
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年4月4日



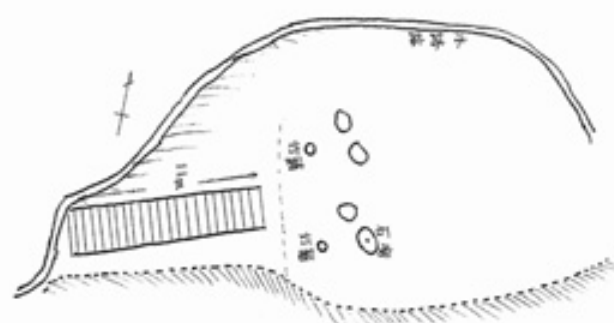
1. No. 相川 5
2. 名称 金刀比羅神社
3. 所在地 相川町五郎左衛門町28番地
4. 管理者 栗山 三樹雄
5. 現状 普通
6. 建築改築年代 不詳
7. 創建 永禄3年(1560)
8. 祭神 崇徳天皇・大物主命・事代主命
9. 祭礼 8月10日
10. 社面積 144坪(475㎡)
11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・合祀殿
12. 構造 本殿流造・拝殿は入母屋
13. 工作物 鳥居1基・灯籠1対・狛犬1対・凱旋門 手洗鉢1基・参道石畳石段
14. 由緒 永禄3年讃岐の琴平宮の別当金剛寺の僧が、渡海して吉井に創建。寛永17年に相川に移る、山師樋口五郎左衛門、社殿を改築し規模を増大す。
15. 立地 三町目と四町目の境、段丘下。
16. 参考資料 「佐渡神社誌」「相川町誌」「佐渡国寺社境内案内帳」
17. 所見 戦前は海の神、戦の神として島内各地から信仰を集めていた。
18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日 平成12年4月4日



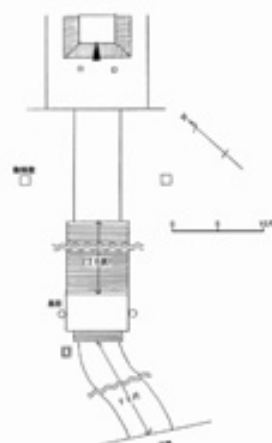
1. No. 相川 6
2. 名称 塩竈神社
3. 所在地 相川町江戸沢町18番地ノ子
4. 管理者 富崎 稔
5. 現状 管理良好
6. 建築改築年代 不詳
7. 創建 文禄元年(1592)
8. 祭神 塩土老翁命・狼田彦命
9. 祭礼 5月15日
10. 社面積 283.3坪(539㎡)
11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・社務所
12. 構造 入母屋 拝殿唐破風
13. 工作物 鳥居1基・灯籠3対・手洗鉢1基 狛犬1対・社号柱1
14. 由緒 始め塩屋町の丘腹に創建、長坂に牢屋ができて、その汚穢に触れるということで寛永6年今の地に移る。
15. 立地 門前と羽田の交差点から小路を南東に進み間切川を渡ったところ。
16. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡神社誌」
17. 所見 創建が塩焼きと関係がある塩屋町で、「塩竈」とつけたという伝承がある。塩問屋岩佐嘉右衛門がいた所でもある。
18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日 平成13年3月31日



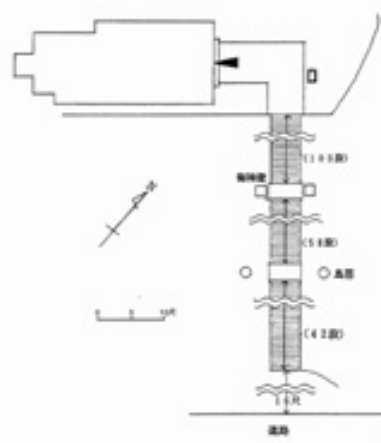
1. No 相川 7
 2. 名称 大山祇神社 跡
 3. 所在地 相川町上山之神町1番地
 4. 管理者 相川町
 5. 現状 原野
 6. 建築改築年代
 7. 創建 慶長6年(1601)
 8. 祭神 大山祇命・軻遇突智命
 9. 祭礼
 10. 社面積 明治16年「寺社明細帳」に840坪(2772㎡)
 11. 建造物 なし
 12. 構造
 13. 工作物 灯籠1対・石段・社殿の礎石
 14. 由緒 慶長6年相川金銀山の立ち始めに、鉾山鎮護のため勧請と伝えられる。明治33年下山之神の大山祇神社に合併する。
 15. 立地 上相川町の最奥の高台。裏には上相川が流れている。
 16. 参考資料 「佐渡相川志」
 17. 所見 史蹟保存として考えたい。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年3月25日



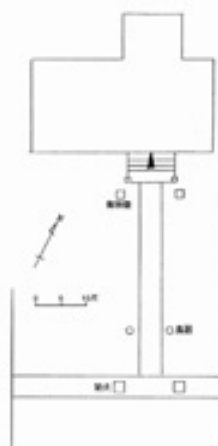
1. No 相川 8
 2. 名称 高任神社
 3. 所在地 相川町惣徳町
 4. 管理者 佐々木 勉
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代
 7. 創建
 8. 祭神 大島高任
 9. 祭礼 5月13日
 10. 社面積 283.3坪(539㎡)
 11. 建造物 本殿、
 12. 構造 権現造銅版葺
 13. 工作物 木鳥居1基・灯籠1対
 14. 由緒
 15. 立地 道遊の割戸の真下。
 16. 参考資料
 17. 所見 鉾山の近代化に取り組んだ大島高任の功績を讃えると共に、今後史蹟を観光に結びつけるに好条件ではないだろうか。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成13年3月30日



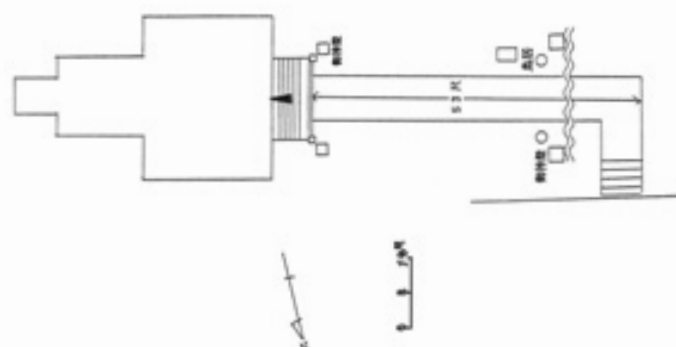
1. No	相川 9
2. 名称	稲荷神社（関東）
3. 所在地	相川町五郎右衛門町25番地
4. 管理者	佐々木 勉
5. 現状	管理良好
6. 建築改築年代	不詳
7. 創建	元禄2年（1689）
8. 祭神	倉稲魂命、
9. 祭礼	9月28日
10. 社面積	346坪（1143.8㎡）
11. 建造物	本殿・幣殿・拝殿
12. 構造	日吉造
13. 工作物	灯籠1対・手洗鉢1基・石段、
14. 由緒	金児関東弥右衛門が、私費をもって創建と伝えられる。
15. 立地	濁川添いのスカイライン北側斜面の中段。第三駐車場の向かい合い。
16. 参考資料	「佐渡神社誌」「相川町誌」「佐渡国寺社境内案内帳」
17. 所見	深緑の頃は見応えがある。関東間歩跡
18. 調査員	三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日	平成12年3月28日



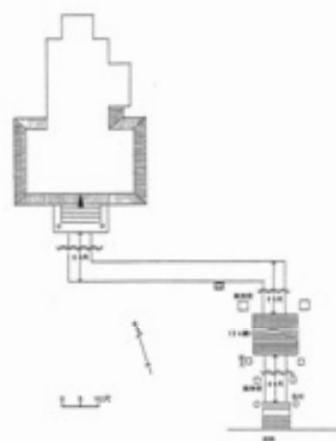
1. No	相川 10
2. 名称	北野神社（天満宮）
3. 所在地	相川町大工町14番地
4. 管理者	佐々木 勉
5. 現状	管理良好
6. 建築改築年代	不詳
7. 創建	天正年中（1573～1592）
8. 祭神	菅原道真朝臣
9. 祭礼	5月25日
10. 社面積	67.9坪（224.2㎡）
11. 建造物	本殿・幣殿・拝殿、
12. 構造	瓦葺
13. 工作物	鳥居1基木・灯籠1対・狛犬1対
14. 由緒	沢根城主本間摂津守永州が、先祖祭祀のために創建と伝える。
15. 立地	大工町の台地で道路に面している。
16. 参考資料	「佐渡神社誌」「相川町誌」
17. 所見	明治元年弥十郎町の北野神社と合併。石像物は鉾山関係者の寄贈によるのである。
18. 調査員	三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日	平成13年3月30日



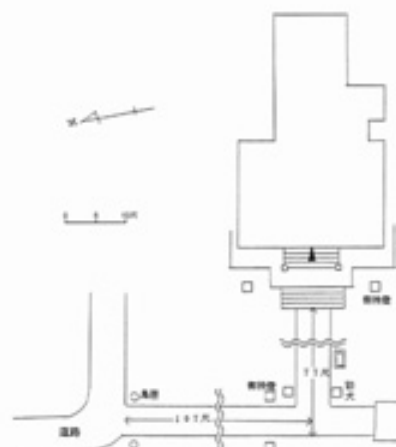
1. No 相川 11
 2. 名称 大神宮
 3. 所在地 相川町夕白町23番地
 4. 管理者 佐々木 勉
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創建 不明
 8. 祭神 大日靈貴尊、
 9. 祭礼 6月11日
 10. 社面積 275坪 (907.5㎡)
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿
 12. 構造 切り妻
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠2対・手洗鉢1基、石畳
 14. 由緒 買石池嶋甚兵衛霊夢により、銀山の盛りを得たため、報賽として北沢町に建立したと伝えられている。夕白町の旧道に面している。
 15. 立地
 16. 参考資料 「佐渡神社誌」「相川町誌」「佐渡国寺社境内案内帳」
 17. 所見 地域の社という感じで、住民の手で管理されている。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成12年3月30日



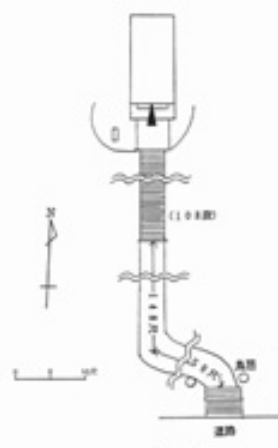
1. No 相川 12
 2. 名称 大山祇神社
 3. 所在地 相川町下山之神町7番地
 4. 管理者
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代 大正5年改築
 7. 創建 慶長10年 (1605)
 8. 祭神 大山祇命・木花開耶姫命
 9. 祭礼 7月13日
 10. 社面積 670坪 (2508㎡)
 11. 建造物 本殿・幣殿・拝殿・神饌所
 12. 構造
 13. 工作物 鳥居1基・灯籠2対・狛犬1対
 14. 由緒 大久保長安の創建の社。神職の安岡氏は、長安が石見から連れてきた。
 15. 立地 下山ノ神台地で総源寺と隣接。
 16. 参考資料 「佐渡神社誌」「相川町誌」
 17. 所見 鉾山の守り神として、鉾山祭には神事が行なわれている。氏子のない神社、鉾山の公的な社の性格が民間企業に移行した現れである。
 18. 調査員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調査年月日 平成13年3月27日



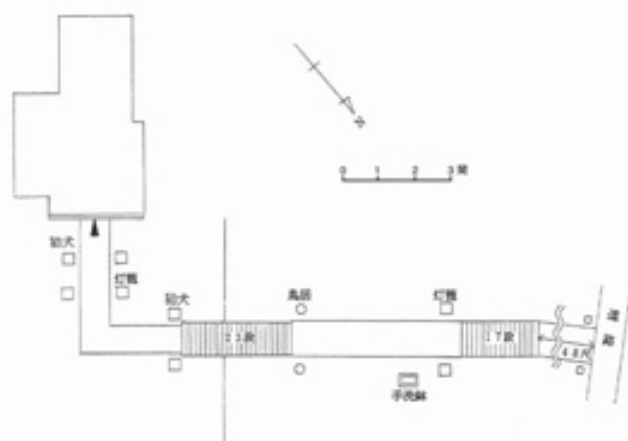
1. No.	相川 13
2. 名称	八幡宮
3. 所在地	相川町下山ノ神46番地
4. 管理者	佐々木 勉
5. 現状	管理良好
6. 建築改築年代	不詳
7. 創建	元和9年(1623)
8. 祭神	誉田別尊・氣長足姫尊・玉依姫命
9. 祭礼	6月15日
10. 社面積	249.7坪(824㎡)
11. 建造物	本殿・幣殿・拝殿・神饌所
12. 構造	日吉造
13. 工作物	鳥居1基・灯籠2対・手洗鉢1基、石畳
14. 由緒	大間町の海浜に勧請されて以来数度の遷座を重ねて、享保4年現在地に移る。
15. 立地	下山ノ神台地の厳常寺坂の上入口に鳥居がある。
16. 参考資料	「佐渡神社誌」「相川町誌」 「佐渡国寺社境内案内帳」
17. 所見	鉾山労働者ならびに町民の信仰を集めた。
18. 調査員	三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日	平成12年3月27日



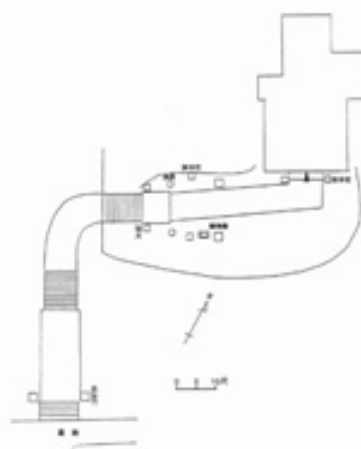
1. No.	相川 14
2. 名称	愛宕神社
3. 所在地	相川町下山之神町
4. 管理者	佐々木 勉
5. 現状	管理 一部破損している
6. 建築改築年代	不詳
7. 創建	慶長12年(1607)
8. 祭神	伊弉諾尊・伊弉冊尊・迦具土命
9. 祭礼	7月24日
10. 社面積	807坪(2663㎡)
11. 建造物	本殿・拝殿
12. 構造	
13. 工作物	手洗鉢1基
14. 由緒	奉行所の鬼門鎮護の為、卜部兼治朝臣により神体を勧請された。
15. 立地	下山之神台地の北側稜線の高い位置108石段の上。
16. 参考資料	「佐渡神社誌」「相川町誌」
17. 所見	現在は社殿のみで、神体は善知鳥神社と合併す。
18. 調査員	三浦啓作・鎌田直治
19. 調査年月日	平成13年3月27日



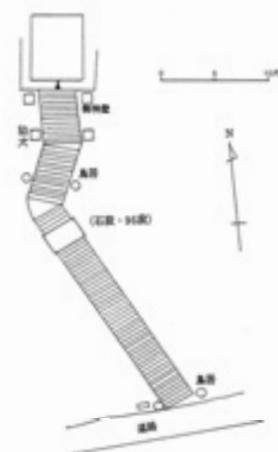
1. No 相川 15
2. 名 称 風宮神社
3. 所 在 地 相川町下相川
4. 管 理 者 富崎 千之
5. 現 状 管理普通
6. 建築改築年代 不詳
7. 創 建 寛永3年(1626)
8. 祭 神 級長戸辺命・級津彦命・合祀 菅原道真朝臣
9. 祭 礼 6月15日
10. 社 面 積 98.5坪(325㎡)
11. 建 造 物 本殿・幣殿・拝殿・神饌所
12. 構 造 春日
13. 工 作 物 鳥居1基・灯籠2対・手洗鉢1基・狛犬1対・石畳
14. 由 緒 始めは台地の上で左右に岩あり耳岩と称する。後現在地に移された。
15. 立 地 柴町の裏、段丘下部で一段高い。
16. 参 考 資 料 「佐渡神社誌」「相川町誌」「佐渡国寺社境内案内帳」
17. 所 見 昭和29年同町内の北野神社を合併する。
18. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治
19. 調 査 年 月 日 平成12年3月27日



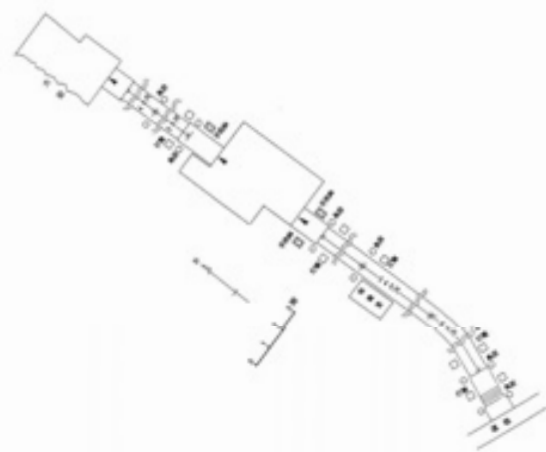
1. No 相川 16
2. 名 称 戸河神社
3. 所 在 地 相川町下相川322番地
4. 管 理 者 富崎 伸昭
5. 現 状 管理普通
6. 建築改築年代 不詳
7. 創 建 不詳
8. 祭 神 戸川藤五郎
9. 祭 礼 6月15日
10. 社 面 積 268坪(889㎡)
11. 建 造 物 本殿、拝殿
12. 構 造 入母屋
13. 工 作 物 手洗鉢2基・社号柱・門柱・鳥居1基 灯籠1対、
14. 由 緒 佐渡の木炭焼きの開祖といわれ、有徳の人で町民の信奉を得るとともに開拓をし村を築くに至った。下相川富崎の岩礁地帯の一角。
15. 立 地 「佐渡神社誌」「相川町誌」「佐渡国寺社境内案内帳」
16. 参 考 資 料 合祀 須勢理姫命・豊玉姫命・倉稲魂命 戸河権現であったが明治41年戸河神社と改める。
17. 所 見 三浦啓作・鎌田直治
18. 調 査 員 平成13年3月27日
19. 調 査 年 月 日



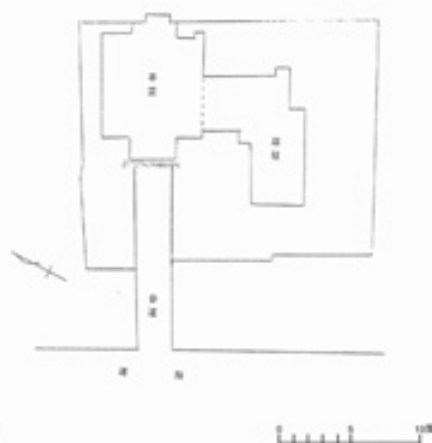
1. No 相川 17
 2. 名 称 百足山神社
 3. 所 在 地 相川町下相川866
 4. 管 理 者 富崎 伸昭
 5. 現 状 建造物は普通、木立は松食虫で枯死
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創 建 不詳
 8. 祭 神 須勢理姫命
 9. 祭 礼
 10. 社 面 積 15坪 (49.5㎡)
 11. 建 造 物 本殿・拝殿
 12. 構 造 物 拝殿入母屋
 13. 工 作 物 鳥居2基・灯籠1対・狛犬1対
 参道石段
 14. 由 緒 明治16年県令に提出された「神社
 明細帳」に「安永3年9月朝日旧
 霊山寺の後の山石穴より一丈余り
 の百足出現せしにより鎮祭せし
 旨。従前見上権現と称し来る處、
 明治11年7月改称とある。
 15. 立 地 県道下相川の集落はずれのカーブ
 から見上げる岩山の中段。
 16. 参 考 資 料
 17. 所 見 海よりの強風にさらされるので管
 理が大変である。
 18. 調 査 員 見 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調 査 年 月 日 平成13年3月31日



1. No 相川 18
 2. 名 称 ニツ岩大明神
 3. 所 在 地 相川町下戸村
 4. 管 理 者 能村 礼子
 5. 現 状 建造物は良好
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 創 建 不詳
 8. 祭 神 団三郎格
 9. 祭 礼 4月12日
 10. 社 面 積
 11. 建 造 物 本殿・拝殿・地藏堂
 12. 構 造 物 切り妻、木造。土台岩盤にコンクリート
 13. 工 作 物 鳥居6基・石灯籠3対・手洗鉢3
 14. 由 緒 鉾山の精練に使用する縄のピストン
 に巻く皮が大量に使われるの
 で、ニツ岩団三郎が格を放し保護
 繁殖させたという。
 15. 立 地 相川町と佐和田町との境界林道、ニツ
 岩線を約1.5km登ると、鳥居が並ん
 でいる参道を大仏沢に下がりかけた岩。
 16. 参 考 資 料 「佐渡の格の話」山本修之助
 17. 所 見 参詣者が多く大願成就すると鳥居
 が参道に奉納され、奉納者の名が
 書かれている。その数は300基をこ
 えている。佐渡格の伝承は多く、家
 内安全、病気平癒、祈願成就と御利
 益があると信じられている。
 18. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治
 19. 調 査 年 月 日 平成13年5月17日



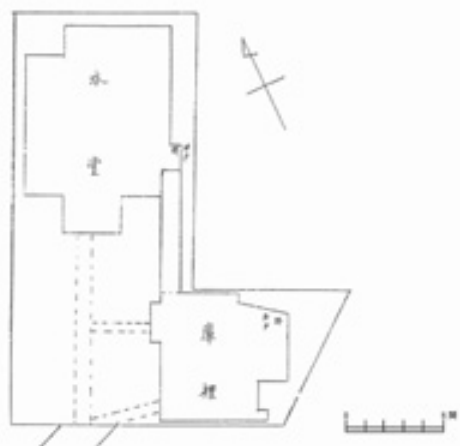
1. No. 相川 1
 2. 名称 天台宗 帰命山 弾誓寺
 3. 所在地 相川町四丁目8番地
 4. 管理者 内藤 淳芳
 5. 現状 管理良好 庫裏に住職居住。
 6. 建築改築年代 改築明治40年
 7. 開基 寛永13年(1636) 7月
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 相模 浄発願寺
 10. 構造・材料 本堂は入母屋照り瓦葺き 外回り柱檜・角柱桧。切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 開基僧長音は木食弾誓の弟子で、僧祖の名を寺号とす。長音と弟子清眼の刻んだ阿弥陀如来像と薬師像は六尺もあり、俗に大仏として多くの信仰を集めた。
 13. 立地 市街地の一段高い岩礁地で、河岸段丘の下。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡名勝志」
 15. 所見 境内には佐渡奉行角南主膳国寛の墓碑あり、またかつてはこの岩から釣りをしたといわれるくらいで、四町目は海であったことが偲ばれる位置である。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



1. No. 相川 2
 2. 名称 浄土宗 廣龍山 法然寺
 3. 所在地 相川町下寺町4番地
 4. 管理者 末武 清隆
 5. 現状 建造物・庭園ともに管理良好 庫裏住職居住
 6. 建築改築年代 寛延2年再建
 7. 開基 応仁年中(1467~68)
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 京都 知恩院
 10. 構造・材料 本堂入母屋照り瓦葺き、向拝付き・庫裏・土蔵・水屋観音堂・山門。
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 開基僧行營、応仁年中に佐和田町大阪町に一字を建立法界寺と号す。慶長11年に移る。寛永11年佐渡の触頭となる宝暦に寺号を改める。下寺町の高位置で、道遊線が寺の裏側を通って。
 13. 立地
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」「相川町誌」
 15. 所見 境内には佐渡奉行伊丹播磨守康勝・大熊善太郎の墓・田中葵園・蔵田茂樹・黒沢金太郎の墓がある。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 20



1. No 相川 3
 2. 名称 浄土宗 金龍山 広源寺
 3. 所在地 相川町南澤町145番地
 4. 管理者 古藤 宗雄
 5. 現状 管理良好 庫裏住職居住
 6. 建築改築年代 明治10年再興
 7. 開基 元和7年(1621)
 8. 本尊 阿弥陀仏
 9. 本山 京都 知恩院
 10. 構造・材料 本堂入母屋廻り瓦葺き 向拝付き 切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 開基僧伊豆の専譽という、願主は佐渡奉行竹村九郎右衛門嘉政。明治元年に廃寺になるまでは中教院にあった。明治10年檀家の願いが叶い現在地に再興す。
13. 立地 郷藏 南澤町段丘の中段竹林あり。江戸沢町から会津町への坂道沿い。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡名勝誌」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 明治の廃仏稀釈の際、住職が寺領を携え帰農したが、再興の時にはその土地は半減してしまったという。堂塔・仏具などは相川一の壮麗といわれていた。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 4
 2. 名称 浄土宗 長栄山 大安寺
 3. 所在地 相川町江戸沢町1番地
 4. 管理者 末武 義章
 5. 現状 建造物、庭園ともに管理良好。庫裏に住職居住
 6. 建築改築年代 延享元年再建
 7. 開基 慶長11年(1606)
 8. 本尊 阿弥陀仏
 9. 本山 京都 知恩院
 10. 構造・材料 本堂入母屋尻上がり瓦葺き、向拝付き。庫裏・水屋、観音堂・山門。
 11. 指定 国指定の長安逆襲塔・川村の供養塔。
 12. 由 大久保長安が京都から大雲院聖譽貞安を招聘して開基、その後数回の火災により規模が縮小されて現在に至る。
13. 立地 羽田町の東端門前から直線のなだらかに登り詰めると山門にたどりつく。山門からは相川湾が春日崎を結んでよく見える。
 14. 参考資料 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」「相川町誌」
 15. 所見 境内には国指定の長安の逆襲塔、川村彦左衛門の供養塔がある。北側斜面には町指定タブ樹林がある。当初の本堂は十二間に十間の大伽藍であったが数度の火災に合った。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 5
 2. 名称 浄土宗 声運山 立岩寺
 3. 所在地 相川町下戸村647番地
 4. 管理者 末武 清隆 (兼務)
 5. 現状 管理良好 近年観音堂屋根瓦葺き替え。
 6. 建築改築年代 寛永6年 享保3年
 7. 開基 元和年中
 8. 本尊 阿弥陀仏 ※片袖の弥陀
 9. 本山寺 京都 知恩院
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由緒 はじめ四町目西側に創建、境内に屹立した巨岩があったので寺号とした。相川小学校の前。一段低い県道添い。
 13. 立地 相川小学校の前。一段低い県道添い。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 明治の廃仏毀釈で明治10年再興。明治6年から明治9年迄小学校に仮用される。庫裏は撤去されている。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



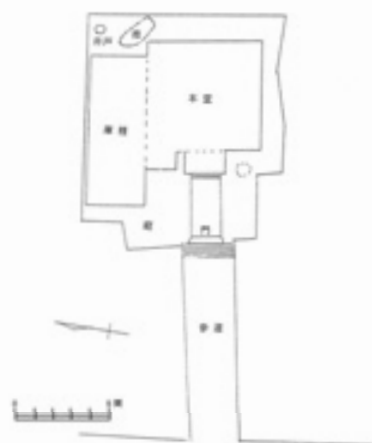
相川小学校



1. No 相川 6
 2. 名称 浄土真宗 称名山 大福寺
 3. 所在地 相川町六右衛門町36番地
 4. 管理者 丸山 照夫
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏改築住職居住す。
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 開基 慶長17年 (1612)
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 京都 西本願寺
 10. 構造・材料 本堂切り妻瓦葺き向拝付き
 11. 指定 なし
 12. 由緒 越中城端から僧宗俊渡来し、慶長17年に建立した。
 13. 立地 上京町の上で丸山とも呼んでいる斜面。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 境内は斜面を利用して植栽されている。明治の廃仏毀釈で明治10年再興す。宗俊の持仏十五光仏という光明本尊が保存されている。鉾山の工夫の信仰が篤かった。明治7年より同9年迄小学校の仮校舎に使用。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 20



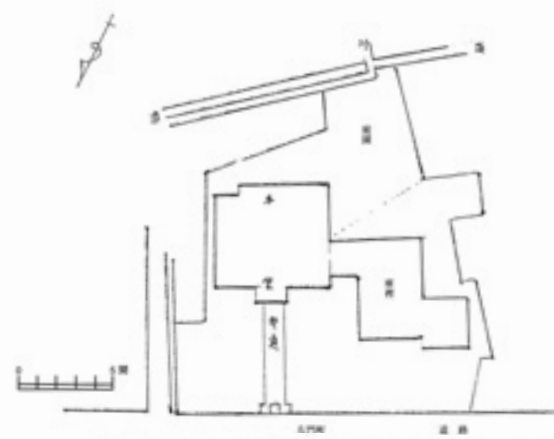
1. No 相川 7
 2. 名称 浄土真宗 無量山 常德寺
 3. 所在地 相川町羽田町26番地
 4. 管理者 坂本 外次 (檀家惣代)
 5. 現状 管理良好
 6. 建築改築年代 明治12年火災 その後新築
 7. 開基 元和元年 (1615)
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 京都 西本願寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き、切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 開基後本山に請けて御坊となる。鉾山衰退すると寺運振るわず、別院を停めて大阪道頓堀常德寺の僧元世が入って累代相続し来た。羽田町東側段丘下部。門前に近い。「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 13. 立地 小倉大納言実起父子の止宿所となったこともある。また明治12年相川警察署の仮設所となった。
 14. 参考資料 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 15. 所見 平成12年4月4日
 16. 調査員
 17. 調査年月日 〃 13. 2. 20



1. No 相川 8
 2. 名称 浄土真宗 紫雲山 万照寺
 3. 所在地 相川町諏訪町17番地
 4. 管理者 小林 祐玄
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏住職居住
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 開基 (万行寺) 元和5年 (1619)
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂切り妻瓦葺き向拝付き、切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 安楽寺・証誠寺・浄願寺、更に明治になって専照寺と合併して万照寺と改める。
 13. 立地 諏訪町で現在住民が居住する所としては、最奥山となった。スカイラインの登り口あり。大工町の奥なり。
 14. 参考資料 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 境内には大岡源三郎父子の墓がある。山門は佐渡奉行所の裏門を、移築したと伝えられている。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月28日
 〃 13. 2. 20



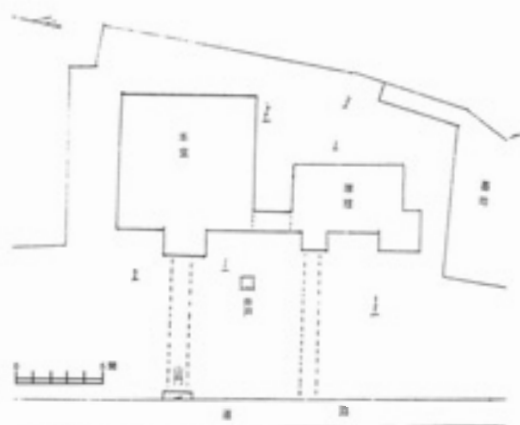
1. No 相川 9
 2. 名称 浄土真宗 厳照山 蓮光寺
 3. 所在地 相川町左門町27番地
 4. 管理者 福岡 仁
 5. 現状 管理良 山門の屋根瓦が痛んでいる。
 6. 建築改築年代
 7. 開基 慶長8年(1603)
 8. 本尊 阿彌陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付流れ屋根
 根 切石土台。柱材 桧・杉
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 開基僧徳了、越中砺波郡柳瀬村に
 当寺を創建、後相川に移り寺をも
 移した。住職の系統から院家に準
 ずる格式を許される。其の血統は
 第八世まで続く・九世は新津よ
 り、法灯を次ぐ明治迄続く。
 13. 立地 京町南側の清閑な地。
 14. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡
 相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 正徳元年・寛保2年の2回にわた
 る火災にあっている。奉行本目準
 人親英の墓あり。境内に鉾山石臼
 が多く見られる。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月28日
 ◇ 13. 2. 20



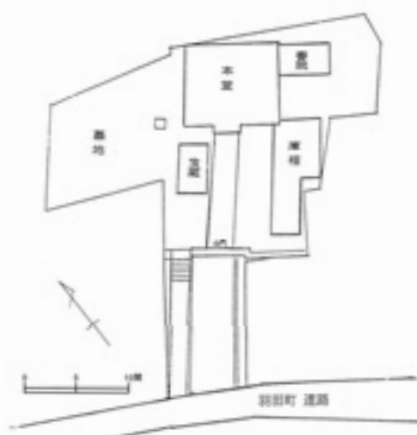
1. No 相川 10
 2. 名称 浄土真宗 片貝山 願龍寺
 3. 所在地 相川町大間町35番地
 4. 管理者 大久保 州 (兼務)
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏。無住 兼
 務。裏山水害あり
 6. 建築改築年代 宝永2年移築
 7. 開基 慶長7年(1602)
 8. 本尊 阿彌陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き向拝付流れ屋根
 切石土台。柱材 桧・杉
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 開基僧明専、佐和田町鶴子に創建。
 寛永10年弥十郎町に移る、更に正保
 年中に紙屋町光順寺と合併し、紙屋
 町に移る。宝永2年現在地に移る。
 13. 立地 大間の段丘下で湊の見える位置に
 ある。県道に面し、スカイライン
 入口北側にあり。
 14. 参考資料 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐
 渡相川志」「佐渡相川の歴史」「相
 川町誌」
 15. 所見 現在地は大間町越後屋儀右衛門の
 土蔵敷地跡という。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



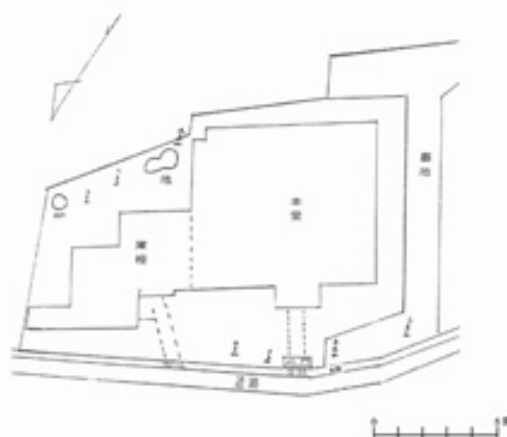
1. No 相川 11
 2. 名称 浄土真宗 金津山 永宮寺
 3. 所在地 相川町一丁目裏町4番地
 4. 管理者 ト部 泰
 5. 現状 管理良好 庫裏住職居住。山門
 6. 建築改築年代 慶応年間に焼失再建
 7. 開基 元和3年(1617)
 8. 本尊 阿彌陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂は入母屋瓦葺き向拝付流れ屋根。切石土台。柱材 樺・松
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 越前金津、永宮寺5世了祐、元和3年渡海石扣町に建立。承応2年現在地に移る。
 13. 立地 一丁目裏通りと間切川(赤川)の間にある。
 14. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 寺名が永弘寺もあるが、永宮寺と変わっている。12世順永(松堂)は「佐渡相川志」を著し、博学高德の人であった。寺運を興し、子弟の育成に尽くした。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ♪ 13. 2. 20



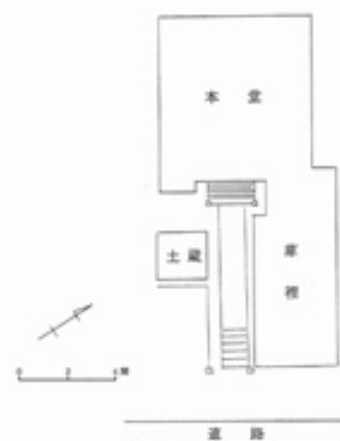
1. No 相川 12
 2. 名称 浄土真宗 普照山 廣永寺
 3. 所在地 相川町羽田町14番地
 4. 管理者 大久保 州
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏住職居住 近年山門補修、本堂屋根瓦葺き替 鐘楼
 6. 建築改築年代 元禄10年類焼翌年再建
 7. 開基 慶長8年(1603)
 8. 本尊 阿彌陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き向拝付流れ屋根切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 緒 開基僧円照は片貝村の人という。もとは加賀専光寺末であった。明治維新以後は、東本願寺末となる。羽田町の繁華街に面している。裏は段丘斜面が押し迫っている。
 13. 立地
 14. 参考資料 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 境内には丸岡南院の墓がある。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年12月7日
 ♪ 13. 2. 20



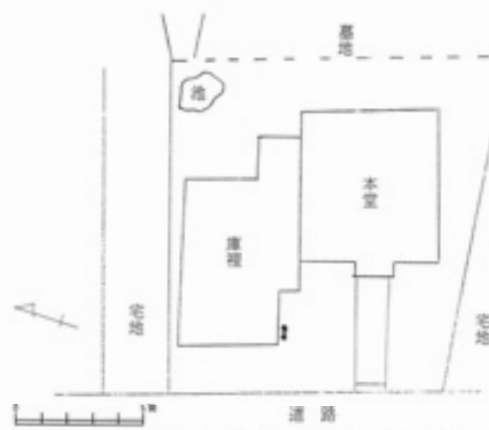
1. No 相川 13
 2. 名 称 浄土真宗 吹雲山 長明寺
 3. 所 在 地 相川町南澤町34番地
 4. 管 理 者 松島 明
 5. 現 状 管理良好 庫裏住職居住。山門
 6. 建築改築年代 元禄年中再建
 7. 開 基 慶長19年(1614)
 8. 本 尊 阿弥陀如来
 9. 本 山 寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂は入母屋瓦葺き向拝付流れ屋根 切石土台。
 11. 指 定 町指定 欄間の彫刻
 12. 由 緒 開基僧浄誓、生国越中。慶長19年渡海して建立。火災に遭っていないので江戸時代の面影を残している。
 13. 立 地 南澤と中寺町の境で、道は大工町に通抜けける。
 14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所 見 明治の廃仏毀釈にあったが、同10年復興する。明治中に五郎右衛門町の称名寺を併合している。
 16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調 査 年 月 日 平成12年3月28日
 ◇ 13. 2. 20



1. No 相川 14
 2. 名 称 浄土真宗 清治山 称念寺
 3. 所 在 地 相川町下戸炭屋浜町44番地
 4. 管 理 者 池田 和子
 5. 現 状 建造物管理良好 庫裏住職居住
 6. 建築改築年代 明治10年頃移転再建
 7. 開 基 寛永8年(1631)
 8. 本 尊 阿弥陀如来
 9. 本 山 寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き向拝付下屋 切石土台。
 11. 指 定 なし
 12. 由 緒 最初佐和田町沢根五十里の称念寺の隠居所として、相川左沢に建立。正徳3年に願龍寺跡を買い求め建立。明治10年現在地に移る。
 13. 立 地 下戸の旧道と海岸道路に挟まれた、浜風の強いところ。
 14. 参 考 資 料 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所 見 明治の廃仏毀釈元年廃寺、明治10年再興する。
 16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調 査 年 月 日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



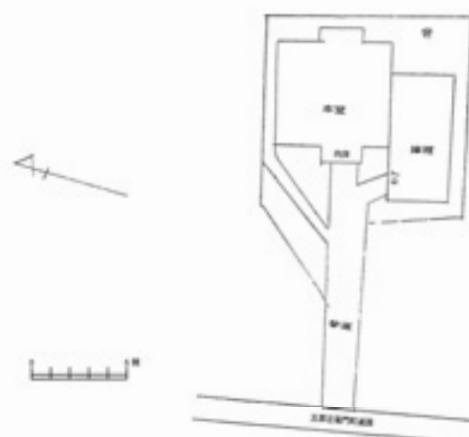
1. No 相川 15
 2. 名称 浄土真宗 不思議山 光楽寺
 3. 所在地 相川町炭屋町8番地
 4. 管理者 笠野 テルエ
 5. 現状 管理普通 庫裏
 6. 建築改築年代 明治17年再建
 7. 開基 慶長19年(1614)
 8. 本尊 阿弥陀如来
 9. 本山寺 京都 東本願寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付流れ屋根 切石土台。
 11. 指定 なし
 12. 由 開基僧行春能登光楽寺より来て板町に創建したが、波浪強く浸蝕が激しいので、元禄年中に現在地に移転した。
 13. 立地 大間町のスカイライン取り付けの低い町並みにある。
 14. 参考資料 「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 廃仏毀釈により明治元年廃寺、同10年復興する。本荘了寛が生まれた寺。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 16
 2. 名称 真言宗 医王山 真如院
 3. 所在地 相川町下寺町14番地
 4. 管理者 渡部 光子(兼務)
 5. 現状 建造物管理普通 庫裏 無住
 6. 建築改築年代 慶長18年(1613)
 7. 開基 薬師如来
 8. 本尊 高野山 一乗院
 9. 本山寺 本堂切り妻瓦葺き向拝付下屋 切石土台。柱 檜・桧
 10. 構造・材料 なし
 11. 指定 元は紀州平等院の末寺なり。一説に、北條道益の開基という口承が有るけれども年代が合わない。
 12. 由 下寺町の段丘中段にある。
 13. 立地 「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 14. 参考資料 道益の兄朝慶が当寺に住持をしていたことから、口承が生まれたのかも知れない。道益は医者として小倉大納権の治療をした。
 15. 所見 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 16. 調査員 平成12年4月4日
 17. 調査年月日 ◇ 13. 3. 14



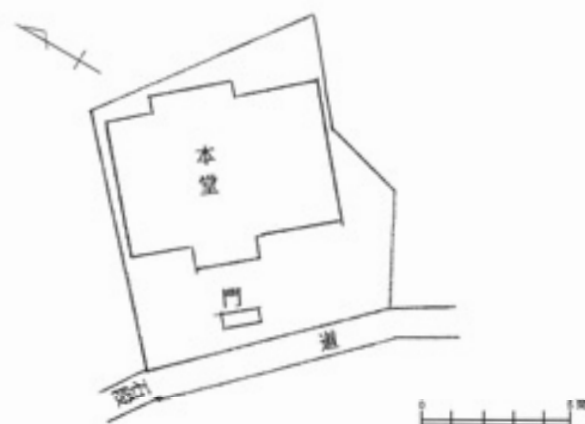
1. No 相川 17
 2. 名称 真言宗 大悲山 金剛院
 3. 所在地 相川町五郎左衛門町24番地
 4. 管理者 小池 セツ
 5. 現状 管理普通 庫裏
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 開基 元和7年(1621)
 8. 本尊 不動明王
 9. 本山寺 奈良 長谷寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 杉・桧
 11. 指定 なし
 12. 由 寛永年間には檀家も多かったが寛文中より減少し廃絶。湯殿山の正海(遍)と言う行者が渡海し再興と伝えられる。
 13. 立地 二町目裏の五郎左衛門町の段丘下。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 明治元年廃寺、同10年復興する。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 18
 2. 名称 真言宗 延命山 相運寺
 3. 所在地 相川町中寺町29番地
 4. 管理者 三浦 純一
 5. 現状 建造物管理普通 庫裏 無住 太子堂
 6. 建築改築年代 享保7年本堂建立
 7. 開基 慶長7年(1602)
 8. 本尊 地藏菩薩
 9. 本山寺 佐和田町 曼陀羅寺
 10. 構造・材料 本堂切り妻瓦葺き向拝付き、切石土台 柱材 樺・桧
 11. 指定 なし
 12. 由 はじめ上相川にあって地藏寺、慈願寺、金剛院などの門徒を支配していたが慶安年中に廃絶した。曼陀羅寺の僧これを惜しみ再興する。
 13. 立地 中寺町の段丘中段にある。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「相川の歴史」
 15. 所見 一段上にある太子堂の周りには、四国八十八観音の石仏が並んでいる。これは廃寺となった地藏寺のものかもしれない。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月27日
 ◇ 13. 2. 20



1. No. 相川 19
 2. 名称 真言宗 慈眼山 福泉寺
 3. 所在地 相川町下寺町15番地
 4. 管理者 渡部 義昭 (兼務)
 5. 現状 管理普通 本堂と庫裏一屋根 無住
 6. 建築改築年代 貞享3年に現在地に再建 (相川町誌) 享保2年に現在地に再建 (境内案内帳)
 7. 開基 慶長17年 (1612)
 8. 本尊 不動明王
 9. 本山寺 佐和田町 長福寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 杉・松
 11. 指定 なし
 12. 由緒 開基より五代不祥、六世宿伝中興
 13. 立地 下寺町坂 (町指定文化財) に面した中段。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 元は現在地の下に建っていたが、西念寺が左門町に移った際その跡地に再建。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 20



1. No. 相川 20
 2. 名称 真言宗 泊藤山 観音寺
 3. 所在地 相川町鹿伏407番地
 4. 管理者 平田 教順
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏 住職居住 薬師堂
 6. 建築改築年代 明治34年焼失 再建
 7. 開基 不詳 (慶長年間再建とある)
 8. 本尊 正観音
 9. 本山寺 奈良 長谷寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦上がり葺き向拝付き 切石土台 柱材 樺・松
 11. 指定 正観音 (県指定)
 12. 由緒 慶長以前の開基が伺える。
 13. 立地 鹿伏の海岸線を走る県道 (護岸堤防がかさ揚げされ路面より低い) に面している。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 佐渡配流の小倉大納権実起父子の遺品あり。小倉父子の墓もある。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月27日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 21
 2. 名称 真言宗 相栄山 大乘寺
 3. 所在地 相川町下山之神町11番地
 4. 管理者 池田 英雅
 5. 現状 管理良好 本堂・庫裏・観音堂
 6. 建築改築年代 不祥
 7. 開基 慶長17年(1612)
 8. 本尊 正観音 脇仏 不動 愛染
 9. 本山寺 奈良 長谷寺
 10. 構造・材料 本堂は入母屋瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 杉・松
 11. 指定 絵馬(町指定文化財)
 12. 由 緒 開基僧有詮。本尊の観音像は寛永年中の佐渡奉行伊丹播磨守の家老で、奉行所留守居役岡林伝右衛門義見の持仏を寄進したものと伝える。
 13. 立地 下山之神台地の奥、総源寺・大山祇神社の南に。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 裏山の四国八十八観音石仏を配置した太子堂がある。良寛の母親実家、大間町橋屋の菩提所。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月27日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 22
 2. 名称 日蓮宗 光栄山 瑞仙寺
 3. 所在地 相川町中寺町2番地
 4. 管理者 青木 練昇
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏 住職居住
 6. 建築改築年代 不祥
 7. 開基 寛永元年(1624)
 8. 本尊 大曼陀羅
 9. 本山寺 新穂 根本寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き唐破風向拝付き 切石土台 柱材 樺・松。祖師堂
 11. 指定
 12. 由 緒 金山山師味方但馬家次が、亡父家重の菩提のため建立した。
 13. 立地 中寺町に残る三寺の一つ。鶴子への旧道筋にある。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 味方但馬家の墓、明治の米騒動指導者小川久蔵等の墓がある。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月27日
 ◇ 13. 2. 20



1. No. 相川 23
 2. 名称 日蓮宗 長光山 妙円寺
 3. 所在地 相川町下寺町1番地の2
 4. 管理者 吉田 見全
 5. 現状 管理良好 本堂・庫裏・番神堂・祖師堂
 6. 建築改築年代 弘化3年焼失再建
 7. 開基 慶長元年(1596)
 8. 本尊 大曼陀羅
 9. 本山寺 佐和田町 妙照寺
 10. 構造・材料 本堂は入母屋瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 樺・松
 11. 指定 無し
 12. 由緒 開基僧久成院日実により佐和田町鶴子四十物町建立。
 13. 立地 下寺町沢道から朱塗り山門を望む。段丘の中段。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
 15. 所見 鶴子から次助町へ、更に現在地と移っている(享保2年)。弘化3年火災に遭ったが、土蔵の焼け跡から桐箱に納めた祖師の直筆の大曼陀羅が残った。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月28日
 ♪ 13. 2. 20



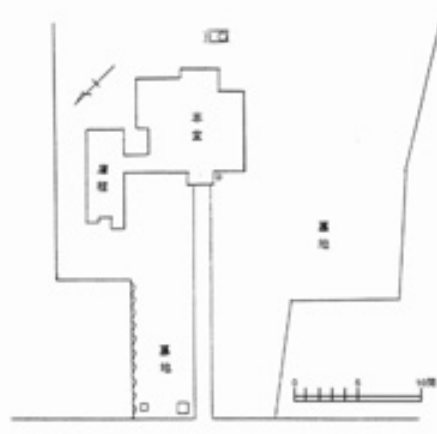
1. No. 相川 24
 2. 名称 日蓮宗 栄久山 法輪寺
 3. 所在地 相川町下寺町13番地
 4. 管理者 大沢 妙設
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏 住職居住
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 開基 慶長9年(1604)
 8. 本尊 大曼陀羅
 9. 本山寺 新穂 根本寺
 10. 構造・材料 本堂切り妻瓦葺き向拝流れ屋根付き、切石土台。柱材 樺・松。
 11. 指定 町指定「金掘り絵馬」
 12. 由緒 法久寺と昭和17年に合併する。味方与次右衛門一族の五輪塔在り。
 13. 立地 下寺町台地で、裏に道遊線が開通した。台地の寺では一番高い境内。
 14. 参考資料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所見 はじめ妙蓮寺といい、寛文9年妙輪寺と改称、元禄年間に再建。享保2年出水をうけ、寛保元年火災に遭い、明治元年廃寺、同10年復興。昭和17年に法久寺(元和8年開基)と合併、法輪寺と改称。寺院の来歴は多難である。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年3月27日
 ♪ 13. 2. 20



1. No 相川 25
 2. 名称 日蓮宗 妙法山 蓮長寺
 3. 所在地 相川町下寺町19番地
 4. 管理者 佐波友 恵隆
 5. 現状 管理良好 本堂・庫裏・番神堂
 6. 建築改築年代 不詳
 7. 開基 元和5年(1619)
 8. 本尊 大曼陀羅
 9. 本山寺 京都 妙覚寺
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 樺・松 庫裏 住職居住
 11. 指定 無し
 12. 由緒 始め上相川山の神町に建立し、蓮体寺と号したが寛文8年寺町に移転して現寺号に改める。その後来迎寺移転跡地を購入し、今の地に建立。不受布施派の僧で佐波流罪となった日庭所持の曼陀羅が残る。
 13. 立地 下寺町台地の寺院が密集した中心地にある。
 14. 参考資料 「佐波国寺社境内案内帳」「佐波相川志」「相川町誌」「佐波相川の歴史」「佐波年代記」
 15. 所見 庫裏は改築されて近代的になっている。始めの寺名 蓮林寺(境内案内帳)・蓮体寺(相川町誌)・蓮久寺(佐波相川志)
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 20



1. No 相川 26
 2. 名称 日蓮宗 栄光山 本典寺
 3. 所在地 相川町下寺町6番地
 4. 管理者 竹中 智英
 5. 現状 建造物管理良好 庫裏
 6. 建築改築年代 延享4年再建以後不詳
 7. 開基 元和9年(1623)
 8. 本尊 大曼陀羅
 9. 本山寺 京都 要法寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き破風向拝付き、切石土台。柱材 樺・松。庫裏
 11. 指定 なし
 12. 由緒 元和9年本山第21世日鉢渡海してこの地に草庵を結び布教する。京の山田吉左衛門吉重京町に住み願主となり、寛永6年建立する。
 13. 立地 下寺町台地で、寺院の密集地。
 14. 参考資料 「佐波国寺社境内案内帳」「佐波名勝志」「佐波年代記」「佐波相川志」「佐波相川の歴史」
 15. 所見 本堂裏には佐波奉行萩原近江守重秀の供養塔、萩原源八郎乗秀の墓碑がある。
 16. 調査員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調査年月日 平成12年4月4日
 ◇ 13. 2. 20



1. No 相川 27
2. 名 称 日蓮宗 宝聚山 玉泉寺
3. 所 在 地 相川町五郎左衛門町3-2番地
4. 管 理 者 笠井 日順
5. 現 状 管理良 本堂・庫裏。
6. 建築改築年代 寛永年間移転再建
7. 開 基 慶長11年(1606)
8. 本 尊 大曼陀羅
9. 本 山 寺 京都 妙顕寺
10. 構造・材料 本堂は入母屋瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 松、桧 庫裏
11. 指 定 無し
12. 由 緒 本山13世日紹渡海下寺町に建立、寛永14年今の地に遷す。
13. 立 地 二町目裏の段丘中段。
14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「相川町誌」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
15. 所 見 老松も松食虫で枯死して淋しい。
16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
17. 調 査 年 月 日 平成12年4月4日

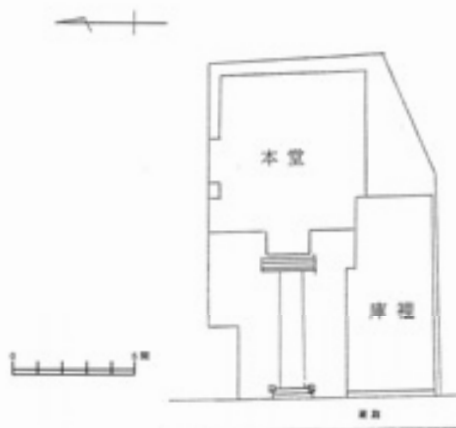
※ 13. 2. 20



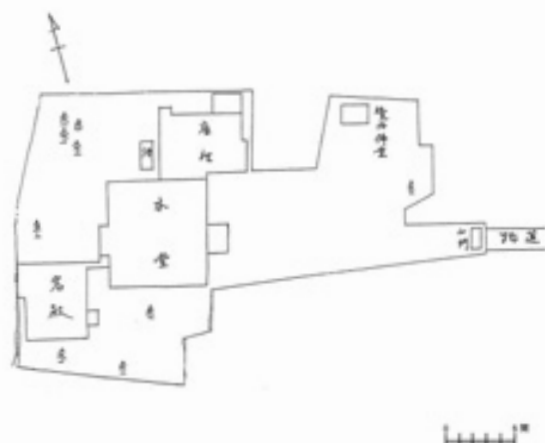
1. No 相川 28
2. 名 称 日蓮宗 光得山 円行寺
3. 所 在 地 相川町五郎左衛門町26番地
4. 管 理 者 佐渡友 恵隆(兼務)
5. 現 状 建造物管理普通 本堂。庫裏
6. 建築改築年代 享保19年再建
7. 開 基 寛永元年(1624)
8. 本 尊 大曼陀羅
9. 本 山 寺 真野町 妙宣寺
10. 構造・材料 本堂切り妻瓦葺き破風向拝付き、切石土台。柱材 松・杉 庫裏
11. 指 定 なし
12. 由 緒 創建の地不詳。開基僧円行日進と称す。
13. 立 地 三町目裏の五郎左衛門町の段丘下。
14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡年代記」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
15. 所 見 明治元年廃寺、明治10年再興する。
16. 調 査 員 住職 蓮長寺の佐渡友恵隆が兼務
17. 調 査 年 月 日 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫

平成12年3月28日

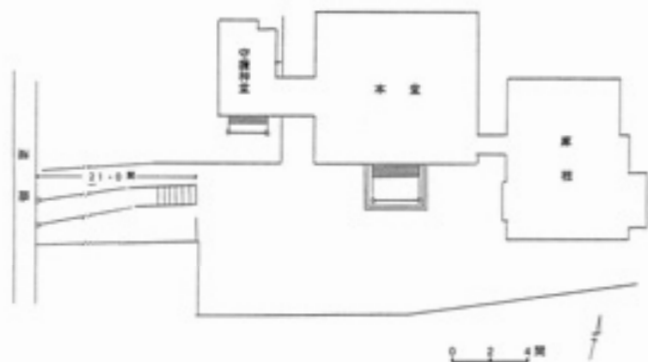
※ 13. 2. 21



1. No 相川 29
2. 名 称 日蓮宗 法栄山 法泉寺
3. 所 在 地 相川町下山之神29
4. 管 理 者 吉田 完隆(兼務)
5. 現 状 管理普通 本堂・庫裏。
6. 建築改築年代 寛永年間移転再建
7. 開 基 寛永元年(1624)
8. 本 尊 大曼陀羅
9. 本 山 寺 新穂村 根本寺
10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 杉・松 客殿・庫裏
11. 指 定 無し
12. 由 緒 始め佐和田町五十里に開基建立。寛永6年下山之神町へ遷す。
13. 立 地 博物館上の下山之神台地先端。巖常寺坂と須灰谷に挟まれた高台。
14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「佐渡名勝志」「佐渡相川の歴史」「佐渡年代記」
15. 所 見 「佐渡名勝志」の撰述者伊藤玄基・編集者須田六左衛門富守の墓所。
16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
17. 調 査 年 月 日 平成12年3月27日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 30
2. 名 称 本門宗 戸河山 本興寺
3. 所 在 地 相川町下相川285番地
4. 管 理 者 富田 義信
5. 現 状 建造物管理良好 本堂・庫裏・守護神堂 住職居住
6. 建築改築年代 元治元年本堂再建
7. 開 基 永正3年(1506)
8. 本 尊 大曼陀羅
9. 本 山 寺 富士市 本門寺
10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き破風向拝付き、切石土台。柱材 樺・松。 庫裏
11. 指 定 なし
12. 由 緒 創建の地不詳、開基僧日儀と称す。
13. 立 地 下相川の段丘下部の一段高い所。
14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
15. 所 見 明治元年廃寺、明治3年真野町世尊寺日達と檀家の熱意で再興する。
16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
17. 調 査 年 月 日 平成12年3月28日
 ◇ 13. 2. 21



1. No 相川 31
 2. 名 称 曹洞宗 円通山 観音寺
 3. 所 在 地 相川町下寺町 5 番地
 4. 管 理 者 木戸 洸
 5. 現 状 管理良好 本堂・庫裏・宝蔵・納屋
 6. 建築改築年代 寛保2年焼失再建
 7. 開 基 慶長19年(1614)
 8. 本 尊 正観音
 9. 本 山 寺 長野 根津 定津院
 10. 構造・材料 本堂は切り妻瓦葺き向拝付き 切石土台。柱材 杉・桧
 11. 指 定 無し
 12. 由 緒 開基僧広沢、檀家の後藤寛翁深く帰依して、堂宇を創建寄進したと伝える。明治始めに隣接していた金昌寺が廃寺になった際、当寺を合併す。同寺の持仏中に天保12年紀州徳川家より寄付せし千手観音・厨子とも精巧で現存する。
 13. 立 地 下寺町台地の法然寺と本典寺の間。
 14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡相川志」「佐渡名勝志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所 見 数少ない宗派である。
 16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調 査 年 月 日 平成12年4月4日
 ◎ 13. 2. 20



1. No 相川 32
 2. 名 称 曹洞宗 青嶽山 総源寺
 3. 所 在 地 相川町下山之神町 3 番地
 4. 管 理 者 藤木 莞爾
 5. 現 状 建造物管理良好 本堂・庫裏 住職居住 山門改築
 6. 建築改築年代 元和5年(1619)
 7. 開 基 正観音
 8. 本 尊 金井吉井 剛安寺
 9. 本 山 寺 金井吉井 剛安寺
 10. 構造・材料 本堂入母屋瓦葺き破風向拝付き、切石土台。柱材 樺・桧。庫裏・納屋・山門
 11. 指 定 なし
 12. 由 緒 一国の総録所に定める。
 13. 立 地 下山之神町台地の大山祇神社に隣接する。
 14. 参 考 資 料 「佐渡国寺社境内案内帳」「佐渡名勝志」「佐渡相川志」「佐渡相川の歴史」
 15. 所 見 佐渡奉行鎮目市左衛門惟明・飯塚伊兵衛英長・篠山十兵衛景義・鈴木市郎正恒の墓あり。平成12年、高安寺を吸収合併する。
 16. 調 査 員 三浦啓作・鎌田直治・羽二生正夫
 17. 調 査 年 月 日 平成12年3月27日
 ◎ 13. 2. 21



No	名 称	所 在 地	開基年代	廃寺、合併、移転年代	付 記
1	浄土宗 光明山 専念寺	相川町鍛冶町158	慶長元年 (1596)	明治元年廃寺 来迎寺へ	但馬出石より渡海の単譽義白、中寺町大超寺と両寺建立
2	浄土宗 金龍山 玄德寺	〃 〃 181	慶長17年 (1612)	明治元年廃寺	
3	日蓮宗 経王山 法華寺	〃 柄杓町 3	慶長18年 (1613)	廃転不明	始め鍛冶町専念寺後に法華堂建立、貞享元年に柄杓町へ、境内もと御米蔵地、大正10年下寺町本敬寺跡へ移る
4	浄土真宗東 専照寺	〃 奈良町 5	元和元年 (1615)	万行寺と合併万照寺となる	
5	曹洞宗 妙音寺	〃 〃 1	慶長11年 (1606)	明治1元年廃寺、総源寺へ	総源寺の隠居寺として建立
6	浄土真宗東 称名寺	〃 五郎右衛門町14	慶長18年 (1613)	明治10年以後廃寺、長明寺へ入	開基僧浄心、越中船橋称名寺より渡海し建立
7	〃 浄願寺	〃 次助町	開基不明	明暦年中に万行寺と合併	流人槍術師大岡源三郎父子の墓
8	浄土宗 方明山 西光寺	〃 〃 4	元和元年 (1615)	慶応 3 年焼失源昌寺へ	境内に天神像あり沢根村地頭本間摂津守京都東福寺より勧請と伝う。現在は大工町に移転
9	日蓮宗 妙法山 覚性寺	〃 〃 10	寛永 7 年 (1630)	明治始め頃朽潰	始め下山之神に建つ、元禄年中に現地に移る、境内に無宿の墓あり。
10	臨済宗 大慈山 興禅寺	〃 上寺町桐木沢	慶長16年 (1611)	廃寺年月不明	正保 3 年慈徳寺と合併
11	日蓮宗 妙耀山 法久寺	〃 上寺町境沢	元和 8 年 (1622)	昭和17年下寺町の妙輪寺と合併、法輪寺となる	始め茶屋平出崎に建つ、寛永 6 年現在地に移る
12	〃 法栄山 妙伝寺	〃 次助町稗畑	慶長 9 年 (1604)	明治元年磐城へ移る	始め上相川岩崎町に庵を結び法花寺と名付く、その後二度寺地を替え。享保 2 年に妙円寺移転跡に移す
13	〃 一乗山 妙法寺	〃 〃 樋道	寛永元年 (1624)	大正14年山形へ移る	
14	浄土宗 日光山 源昌寺	〃 庄右衛門町39	慶長12年 (1607)	復廃不明	「相川町誌」開基慶長13年
15	浄土真宗東 万行寺	〃 諏訪町鉛坂	元和 5 年 (1619)	専照寺と合併万照寺となる	誠証寺、安楽寺、浄願寺合併。奉行鈴木三郎九郎重祐の父の位牌
16	浄土真宗西 広円寺	〃 六右衛門町42	元和元年 (1615)	明治年間に大福寺に合併	始め上相川九郎右衛門町に建つ、善宗寺跡地へ移転
17	浄土真宗東 善宗寺	〃 六右衛門町42	元和 7 年 (1621)	元禄12年広円寺と合併	
18	浄土宗 光明山 広伝寺	〃 〃 35	元和 3 年 (1617)	元の寺地不明、実相寺跡地に移る、明治元年広源寺へ入る	
19	真言宗 実相寺	〃 〃 35	開基不明	延宝 6 年に真宗広円寺に合す	
20	浄土宗 日没山 西念寺	〃 左門町 28	元和 3 年 (1617)	昭和22年法念寺へ入る	始め下寺町現福泉寺境内に建つ
21	浄土宗 南龍山 大超寺	〃 中寺町 9	元和 9 年 (1623)	昭和17年以後に廃寺大安寺へ	

22	日蓮宗 得榮山 善行寺	相川町中寺町大沢11	寛永 5 年 (1628)	明治元年廃寺妙法寺へ	阿仏坊妙宣寺五重ノ塔を建てた日体上人の墓あり
23	＊ 妙休寺	＊ 中寺町 23	寛永 3 年 (1626)	慶応以前に廃寺 妙法寺へ	
24	真言宗 地蔵寺	＊ ＊ 29	慶長12年 (1607)	正徳 6 年本寺相運寺と合併	始め上相川に建つ
25	浄土宗 法蓮寺	＊ ＊ 26	寛永 9 年 (1632)	安政年中に法然寺へ	現相運寺境内
26	曹洞宗 円通寺	＊ 下寺町11-2	開基不明	寛文年中に高安寺へ	高安寺の僧円通寺跡に宝塔を建てる
27	曹洞宗 昌安寺	＊ ＊ 12	元和 4 年 (1618)	明治元年廃寺、高安寺へ	
28	曹洞宗 大嶺山 高安寺	＊ ＊ 10-1	元和元年 (1615)	平成12年廃寺、総源寺へ	小倉大納言実起父妻の供養塔あり
29	浄土宗 鉄壁山 銀山寺	＊ ＊ 16	永正以前 (～1504)	明治元年廃寺、法然寺へ	昔は無本寺、仏具に金山町と刻銘あり
30	日蓮宗 正法寺	＊ ＊ 5-3	寛永 5 年 (1628)	明治元年廃寺、円徳寺へ	円徳寺の記に当寺慶長 8 年 5 月15日開基とある
31	浄土宗 定善寺	＊ ＊ 18	慶長年中 (1596～1615)	明治元年廃寺、法然寺へ	「佐渡風土記」の編者永井次芳の墓あり
32	浄土宗 法円寺	＊ ＊ 7-2	慶長11年 (1606)	安政年中廃寺、法然寺へ	現在法然寺墓地
33	曹洞宗 瑞龍山 大龍寺	＊ ＊ 8-2	元和元年 (1615)	明治元年 湯上に移る	
34	日蓮宗 宝生山 円徳寺	＊ ＊ 2-4	慶長元年 (1596)	明治34年長崎県へ移る	
35	日蓮宗 銀谷山 妙福寺	＊ ＊ 20	寛永14年 (1637)	明治元年廃寺、円徳寺へ	円徳寺の記には開基は元和 3 年とある
36	曹洞宗 金昌寺	＊ ＊ 3	慶長18年 (1613)	明治元年廃寺、観音寺へ	
37	日蓮宗 長性山 本敬寺	＊ ＊ 21	慶長11年 (1606)	大正 9 年 千葉県へ	応永19年沢根村に建立 境内跡に不受布施派の流入日庭の墓あり
38	日蓮宗 覚鷲山 妙輪寺	＊ ＊ 13-3	慶長 9 年 (1604)	円徳寺跡へ移り昭和17年に法久寺と合併し法輪寺となる	妙宣寺五重塔を建てた番匠茂左衛門の墓、丹下左膳の作者長谷川海太郎の先祖の墓あり
39	天台宗 本昌寺	＊ 江戸沢町18	文禄元年 (1592)	明治元年廃寺、弾誓寺へ	現塩竈神社境内。元禄までは一向宗。「相川町誌」開基元禄12年
40	浄土真宗東 聞名寺	＊ 一町目裏3-1	元和 4 年 (1618)	明治元年廃寺 永宮寺へ	始め塩屋町に建立
41	浄土宗 願王山 来迎寺	＊ 五郎左衛門町12	元和元年 (1615)	昭和廃寺、広源寺へ	始め下寺町蓮長寺の所に建立。延宝2年五郎左衛門町へ
42	天台宗 馬頭山 万福院	＊ ＊ 27	慶長19年 (1614)	明治元年廃寺、住職は神官へ	金刀比羅神社別当寺 「相川町誌」開基寛永17年

43	真言宗 日輪山 金光寺	相川町下戸村 363	慶長 6 年 (1601)	明治元年廃寺、住職は神職へ	現在北野神社境内 菅公の尊像を安置
44	浄土宗 十王山 長安寺	＊ ＊ 124	慶長13年 (1608)	明治元年廃寺、大安寺へ	
45	浄土真宗西 専法寺	＊ 石扣町 2	元和元年 (1615)	安政以後数度の火災に遭い廃絶	
46	浄土真宗東 勝善寺	＊ 炭屋町 34	元和 8 年 (1622)	明治年中に常德寺へ	
47	浄土宗 榮照山 嚴常寺	＊ 下山之神町28	寛永 5 年 (1628)	明治元年専光寺へ	「相川町誌」には寛永元年開基
48	曹洞宗 神龍山 長泉寺	＊ ＊ 39-2	元和 7 年 (1621)	廃寺龍源寺へ	
49	真言宗 遍照院	＊ 下山之神	開基不明	元禄 5 年廃寺 現法泉寺墓地	
50	天台宗 教寿院	＊ ＊ 17	慶長12年 (1607)	明治元年廃寺 住職神官へ	愛宕神社別当
51	曹洞宗 沙麓山 大泉寺	＊ 柴町 78-2	元和 8 年 (1622)	明治10年以後に廃寺	信和会館となる、仏具有り
52	曹洞宗 泉龍寺	＊ ＊ 74	開基不明	明暦 2 年廃寺大泉寺へ	
53	浄土宗 水金山 専光寺	＊ 水金町 79-3	元和 6 年 (1620)	明治元年廃寺法然寺へ	境内に藏奉行中村源藏の墓あり
54	浄土宗 海岸山 靈山寺	＊ 下相川 864	慶長 5 年 (1600)	廃寺年代不明法然寺へ	裏の岩山に大百足が棲むという伝説あり
55	真言宗 岩尾山 医王寺	＊ 鹿伏	慶長17年 (1612)	明治元年婦農	聖徳太子像安置、正保 3 年水田与左衛門太子堂再建

相川町廃寺寺院 (所在地未確定)

No 1

No	名 称	所 在 地	開基年代	廃寺、合併、移転年代	付 記
1	浄土真宗東 安楽寺	相川町山ノ内		天正年中誠証寺へ合併	「相川町誌」
2	浄土真宗東 誠証寺	＊ ＊ 左沢		元禄年中万行寺へ入る	(佐渡相川志は証誠寺) 「相川町誌」
3	浄土真宗東 敬音寺	＊ 上相川鍛冶町			「相川町誌」 (佐渡相川志に宗旨不分明とある)
4	浄土真宗東金銀山 浄福寺	＊ 上相川田町		延宝、天和の頃赤泊へ移転	「旧赤泊村史」
5	浄土真宗東 高源寺	＊ 上相川本町			「相川町誌」 (佐渡相川志に宗旨不分明とある)
6	日蓮宗 本行寺	＊ 上相川	元和4年(1618)	寛文9年(1669) 本典寺へ入る	「相川町誌」
7	臨済宗 慈徳寺	＊ 上寺町境坂		正保3年(1646) 退転(相川町誌は明暦中とある)	境内は興禪寺畑となる「佐渡相川志」
8	浄土真宗東 三乗寺	＊ 六右衛門町			「相川町誌」
9	浄土真宗東 大唱寺	＊ ＊			「相川町誌」
10	浄土真宗東 真教寺	＊ ＊			「相川町誌」
11	時 宗 極楽寺	＊ ＊		元禄以降に廃絶	「相川町誌」
12	浄土真宗東 願泉寺	＊ 米屋町	寛永2年(1625)	元禄年中柴町西入寺と合併	始め上相川九郎左衛門に建立 「佐渡名勝志」「佐渡相川志」
13	浄土真宗東 願正寺	＊ 四十物町	慶長10年(1605)	金井町中興へ移る	「相川町誌」
14	浄土真宗東 順光寺	＊ 弥十郎町		寛永10年(1633) 退転	同年願龍寺に合併「相川町誌」
15	時 宗 大願寺	＊ 弥十郎町	慶長13年(1608)	明治元年廃寺神官へ順光寺跡に建つ	「相川町誌」
16	浄土真宗東 照見寺	＊ 夕白町		元禄年中に朽ちて廃寺	「相川町誌」
17	浄土真宗東 長覚寺	＊ 夕白町	慶安年中(1648～51)	寛文5年(1665) 廃寺	宝物に祖師聖人御筆の十字名号があったと伝える「相川町誌」
18	浄土宗 光照寺	＊ 大阪町	慶長年中(1596～14)	享保9年(1724) 真野町新町へ	「相川町誌」
19	浄土宗 光善寺	＊ 長坂町	元和年中(1615～23)	寛永7年(1630) 小木町へ移転	「相川町誌」
20	浄土宗西 専福寺	＊ 中寺町南澤	慶長12年(1607)	元禄年中に朽潰	「相川町誌」
21	日蓮宗 妙栄寺	＊ 中寺町			「相川町誌」

22	真言宗	慈眼寺	相川町中寺町		宝暦2年(1752)沢根曼荼羅寺境へ	始め上相川に建立 「佐渡相川志」
23	真言宗	見性寺	相川町中寺町			始め六右衛門町に建立 「佐渡相川志」
24	浄土宗	安養寺	◇ 下寺町	寛永10年 (1633)	延宝3年(1675)廃寺大安寺へ	「相川町誌」
25	浄土真宗東	高専寺	◇ 三町目			「佐渡相川志」
26	浄土真宗東	浄徳寺	◇ 下戸		寛文年中に永宮寺へ入る	「相川町誌」
27	浄土真宗東	蓮正寺	◇ 下戸			蓮熊寺又は蓮性寺と同じ寺か不明「相川町誌」
28	浄土真宗東	妙願寺	◇ 紙屋町		寛文年中に了円寺へ入る	「相川町誌」
29	浄土真宗東	了円寺	◇ 炭屋町上町	寛永13年 (1636)	大正年中に廃寺住職は還俗	「相川町誌」
30	天台宗	大光院	◇ 上山之神町	慶長12年 (1607)	元禄年中に破壊	「佐渡相川志」
31	浄土真宗	光徳寺	◇ 坂下町			「佐渡相川志」
32	浄土真宗東	長願寺	◇ 柴町			「佐渡相川志」
33	浄土真宗	西入寺	◇ 柴町		元禄年中に米屋町願泉寺に入る	「相川町誌」
34	浄土宗	光明寺	◇ 鹿伏	寛永6年 (1629)	寛文12年(1672)焼失し大安寺へ	「佐渡相川志」
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						

No.	名 称	所 在 地	開基年代	廃寺、合併、移転年代	付 記
1	浄土真宗 正立寺		白根へ移る		「相川町誌」
2	浄土真宗 教宗寺				「相川町誌」
3	浄土真宗 勝安寺				「相川町誌」
4	浄土真宗 靈正寺				「相川町誌」
5	日蓮宗 感応寺				「相川町誌」
6	日蓮宗 本照寺				「相川町誌」
7	曹洞宗 長栄寺				「相川町誌」
8	曹洞宗 西福寺				「相川町誌」
9	曹洞宗 常德寺				浄土真宗常德寺（羽田町）と重複か 「相川町誌」
10	曹洞宗 光徳寺				浄土真宗光徳寺（坂下町）と重複か 「相川町誌」
11	真言宗 密蔵院				「相川町誌」
12	真言宗 明王院				「相川町誌」
13	長楽寺	相川町小右衛門町			「相川町誌」
14	林光寺	◇ 茶屋町			「佐渡相川志」
15	教福寺	◇ 諏訪町			「佐渡相川志」
16	本庄寺	◇ 六右衛門町			「佐渡相川志」
17	乗光寺	◇ 大工町			「佐渡相川志」
18	播磨寺	◇ 南澤			「佐渡相川志」
19	長楽寺	◇ 山崎町			「佐渡相川志」
20	西光寺	◇ 石扣町			浄土真宗西光寺（治助町）と重複か 「佐渡相川志」
21	正龍寺				「佐渡相川志」

22	蓮性寺				「佐渡相川志」
23	莊嚴寺				「佐渡相川志」
24	正覺寺				「佐渡相川志」
25	見正寺				「佐渡相川志」
26	本正寺				「佐渡相川志」
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					

報告書抄録

	あいかわまちこうざんまぶちょうさ・じしゃちょうさ							
書 名	相川町鉾山間歩調査・寺社調査							
副 書 名								
シリーズ名								
編 著 者 名	斎藤本恭 上林章造 三浦啓作 鎌田直治							
編 集 機 関	相川町教育委員会							
所 在 地	〒952-1511 新潟県佐渡郡相川町大字栄町1番地							
発行年月日	平成15年3月28日							
所 収 遺 跡	所 在 地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
	にいがたけん さ じ ぐん 新潟県佐渡郡 あいかわまち 相川町	156019		38° 16′ 12″ 37° 57′ 26″	138° 29′ 13″	1999.11.8 } 2003.1.13	192km ²	鉾山遺跡の 登録の基礎 資料として
遺 跡 名	種 別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
相 川 町 内 間 歩	坑道	中世 近世 現代		廃坑道		寺社調査は旧相川地域		
	寺院跡			敷地 井戸				